

## 地域銀行の平成 29 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 29 年 3 月期は、株式等関係損益が増加したものの、預貸金利回りの悪化等により資金利益が減少したことや役務取引等利益、債券等関係損益が減少したことなどにより、当期純利益は前年同期に比べ、14.7%の減少。

（単位：億円）

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比
業務粗利益	47,547	46,842	43,729	▲ 3,113
資金利益	40,242	39,813	38,419	▲ 1,394
役務取引等利益	5,550	5,471	5,010	▲ 461
債券等関係損益	909	856	▲ 372	▲ 1,228
うち、債券等償却	▲ 24	▲ 57	▲ 14	43
経費	▲ 31,357	▲ 30,936	▲ 30,894	42
実質業務純益	16,190	15,905	12,834	▲ 3,071
与信関係費用(※)	▲ 937	▲ 872	▲ 861	11
株式等関係損益	1,158	1,609	2,136	527
うち、株式等償却	▲ 28	▲ 95	▲ 55	40
当期純利益	10,629	11,729	10,002	▲ 1,727

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期
貸出金（末残）	233.8 兆円	242.0 兆円	251.0 兆円

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 28 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。  
（いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低）

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期
不良債権額	5.6 兆円	5.2 兆円	4.8 兆円
不良債権比率	2.38%	2.13%	1.90%

### 3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 自己資本比率は、28 年 3 月期に比べ、低下。

（国際統一基準行：11行）

	28 年 3 月期	29 年 3 月期
総自己資本比率	14.10%	13.94%
Tier1 比率	13.19%	13.34%
普通株式等 Tier1 比率	13.16%	13.34%

（国内基準行：95行）

	28 年 3 月期	29 年 3 月期
自己資本比率	10.20%	9.86%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）29年3月期の集計対象は106行（地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。